

## Title: 「ME YA THE WORLD」



宮澤 笑美  
1984年8月27日生まれ☆沢山腹で沢山食べます！A型だけど片付けとかは上手くないです。ハウズダストアレルギーだと埃とかよく見えないです。

## ● 最近のエントリー

- ☞ 徒然なるままにマレーシア。(2006.05.31)
- ☞ 私的u720SWの使い方☆(2006.05.26)
- ☞ いや、今までも暑い空間を体験したつもりだけでもお・・・(2006.05.22)
- ☞ ペナンでぼせいどん(2006.05.16)

## ● アーカイブ

- ☞ April 2009
- ☞ November 2008
- ☞ May 2007
- ☞ March 2007
- ☞ December 2006
- ☞ November 2006
- ☞ September 2006
- ☞ August 2006
- ☞ July 2006
- ☞ June 2006
- ☞ May 2006
- ☞ April 2006
- ☞ March 2006

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

ME YA THE WORLD > May 2006 アーカイブ

06.05.31

## 徒然なるままにマレーシア。

[Tweet](#)

[Check](#)

今日で、マレーシア滞在が終わってしまう・・・。  
そういえば5月初旬からマレーシアに居るはずよ。  
何なに。  
KL(クアラルンプール)に向いたのは2日間。  
一昨日やっと初のトレインインマレーシア。  
イセタンの日本語文庫で引きこもり。  
その後、シナボンに大喜び。  
あれ・・・。KLらしくない・・・  
だけど、もう、庭だぜ？

なんてたって、KLタワーを無意味に一周したのさ。

そして、タワーにやっとたどりつければ見えた虹。  
展望台に昇りつめれば見えた夜景。  
一周してしまった時に出くわした渋谷の裏路地に似たところが懐かしい。  
急なコンクリートの階段を上り、変な色のライトに照らされた落書きいっぱい壁と不思議な木の葉が  
ざわめきあう路地。  
誰もが「渋谷っばい！」と口にしたものだ。  
思い出したのは一年生時の課題「渋谷今昔」  
これを撮るために、渋谷の住宅地を歩きまわったぜい。  
今とそのころ。たった2年前だけど、大昔のこのよう。

KLタワーから見たKLはとってもまばゆかったです。  
無料の双眼鏡で見た一つ一つはとっても作り物みたくでした。

とっても有名なツインタワーはとってもメタリックイメーজ。  
昨日は夜、ツインタワーを見上げてみたらお台場と同じイメージ。  
最後は屋台で集合時間までの早食い大会。やっぱり屋台はエイジアン。  
昨日も出向いたKLCC。映画・DVD・ゲームもみしました。  
英語凄く難しかったけど、凄くおもしろかったです。  
つつい、そのまま直イセタン行って日本語の文庫を買ってしまいそうでしたが残念。閉店。  
帰国後読みたい。  
あれれ？服人？と思われましたか。  
違います！

気付いたらこんな日にちだったのです。  
この20日間。スクーリングあり、ハブニングありでした。  
理事長先生にもいらしていただき、しかも！  
たくさんものを提供していただき、すごく快適に生活を送ることができたのです。  
理事長先生、本当に、本当にありがとうございました！  
鈴木先生と飯塚先生がスクーリングのため、いらしていただいたときはとても不思議な感じでした。今まで、私達が生活していたスペースに先生方が・・・。  
あ、これは前の日記に書いた。  
本当に不思議でした・・・。  
本当にスクーリングはためになり、マレーシアを抜けて次なる国へ向けて意欲がわくのです。

そして、明日はインドなのです。  
今まで日本食に埋もれていた私達にそれはできるのか。  
そして今日はみんなで大掃除。  
スローガンは「来た時よりもきれいにしよう」  
・・・・

ノーコメント！

だけど、各階にわかれてできる限りのことはした！

今困っているのは、たまねぎとお米の行き場。  
キッチンに残ってる食材を全部使おうと今日は炭水化物パーティーを開くことにしました。  
たまねぎ15個。お米5キロを果たして明朝5時までに食べることができるのか・・・！

乞うご期待。  
そして私は洗濯物を干しに行くのでした。

徒然なるままに書き上げてしまいました。実際、インドに焦ってますΣ(>▽<) b

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.05.31 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

ME YA THE WORLD > May 2006 アーカイブ

[Tweet](#)[Check](#)

スクリーニングで写真をまとめて居たら見つけた一枚の写真。  
ベトナム・フエで出会った家族が私を撮ってる姿。  
持っているカメラはオリンパスさんから提供して頂いたμ720SW。  
この家族と会ったのは数時間前のことだった。  
道を歩いていると川のほとりでカードゲームをしている子供達に惹かれてカメラに向けた後の出来事。  
私が持っているデジカメに自分の姿が写ることがとても嬉しかったようでキャッキョッキョキでした。  
私は調子に乗っていっぱい写真を撮った。  
そして、私は、写真を撮るといってもみんなに体験して欲しいと思った。  
そこでμ720SWを貸して、ここを押すんだよ。って教えた。  
そうすると家族全員、興味津々で画面をのぞきこんでる。

この旅にはデジカメが必要不可欠と感じる。  
自分の作品作りには勿論、フォーマットは選んで持つ必要があるけれど、それとは別に、このように小さなコンパクトデジタルカメラ。  
今のところ、どこかの国に行ってもこの、デジカメでコミュニケーションをとっている。  
その場で撮られた写真を見れるってやっぱり、安心するし、何より嬉しいんだと思う。  
特に、それに触れたことの無い人には凄く喜ばれる。  
いつも、持っていて良かったなって感じている。  
自分の子供や孫が写真になったときの人達の顔は最高に輝いている。  
撮られた子供の顔は好奇心いっぱいの顔になる。  
私が持っていたことによってそんな顔が見れると思うと凄く凄く嬉しい。



カンボジアの子供達と遊ぶときもμ720SWに非常にお世話になった。  
なんせ、防塵防水。何があっても大丈夫。(よほどのことがない限り☆)  
友達みんなもオリンパスデジカメを子供達に貸しっぱなしだった。  
子供達の学習能力はすごい高くて機能をすーっごく覚えた!!  
そして、凄く良い作品を撮るんだ。  
自分達で撮った写真を後で見せてあげると、更に深めるために更なる撮影。  
完全に芸術家になっていた・・・。  
いつか、将来、誰か、カメラに興味を持ってくれると嬉しいなあってみんなで言い合った。

コミュニケーションをとるときに最善のデジカメだけど、それだけじゃない。

私達の旅行記にもかかせないものなのです。  
やっぱり、一眼レフではちょっとした出来事はなかなか撮れないのです。  
腰が重くなるというか、なんというか。(笑)  
オリンパスさんのおかげで私達、クラス全員が集まる度にどこかの部屋で、ロビーで今までした体験や、見ためずらしいものをデジカメの写真とムービーで見せ合って海外フィールドワークの  
体験を分け合っているのです◎  
「見て、ここ。かっこよくない？」  
とか  
「これ、まじやばかったって！」とか  
「まじ、ハンパないから！」とか  
「かわいいでしょ？」とか

「見て、この動き。ウケルから！」とかとか  
「うらやましいっしょ。」とか  
「見せてよ。今までの。」ととりあえず、久しぶりに会ったらそこから始まります。  
カメラ初心者かよ！ってぐらいどうでもいいのまでも撮り尽くしています。(笑)

五十嵐先生の記念写真はいつも、μ720SW。そこらへんの店員さんにも頼んで集合写真当たり前☆  
ブログに思い通りに更新できていないのですが、みんなオリンパスデジタルカメラには膨大な写真の数を蓄積していることでしょう。  
私も、一眼レフよりいいじゃん！って写真が出てきたりしてます。  
本当にオリンパスさん、デジタルカメラを提供していただき本当に本当にありがとうございます！！  
そして、これからもどんどん、活用していきます。  
あと4ヶ月間。もっともっと、アクティブなデジタル写真をブログに更新していきたいなと思っております。



プールの中からOH谷が撮った写真。

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.05.26 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#)

ME YA THE WORLD > May 2006 アーカイブ

06.05.22

## いや、今までも凄い空間を体験したつもりだけでもお・・・

[Tweet](#)

[Check](#)

色んな日記が書きかけだ・・・。  
今はスクリーニング期間。  
今日とうとう、産のごとくゼミの先生二人が現れた。  
今、みんな一番最初の個人面接をしている。  
やっぱり久しぶりに力と、焦りと、考える力と頑張る力と、恐怖とうわあーなんかもう色々復活した。(笑)  
何日か前から暗室は朝夜の交代制。  
夜組は24時から7時くらいまで、朝組は6時から夜まで・・・？  
私はデジタル組なので詳しくわからないけれど、ひどく忙しそうだ。  
デジタル組はパソコンはあるので画像の編集。  
プリンターのみを順番待ちしている状態。  
ポジの人は先生が持ってきた、仕上がった写真を今、見ている。  
とうとう空気が染まってきた◎  
さっきにも書いたとおり、色んな空気が混在している。  
先生たちと面談している人以外は、作業や、時間待ちの人達でドミトリーの掃除。買出し。  
生活と、授業がくっついた。  
未だかつてないぞ・・・。他には決していないだろう・・・。  
本当に凄いことだと思う。  
そして、現実になった今。  
やっぱり  
本当に凄い空間になっている。

ただそれだけを伝えたくてどんな書きかけのブログよりも先にアップしようと思ってる。(笑)  
伝わるだろうか。この違和感。  
隣では、暗室作業がひたすら行われ、  
二階では生活が続いていて、  
その間にある教室で飯塚ゼミナール。  
そして、洗濯物干し場兼喫煙所の屋上。  
凄く、風通しの良い場所では勿論。  
鈴木ゼミナールが開かれている。  
これから一週間。  
産は続くZE!  
不思議な空間。他に誰がこの違和感をわかってくれるだろうか・・・。

カテゴリ:

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.05.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

ME YA THE WORLD > May 2006 アーカイブ

06.05.16

■ ...



今日は、お昼過ぎまでぐだぐだしてた。  
ベナン島でぐだぐだしてた。

だけど、明日香さんが水上家屋に撮影に行くっていうから  
じゃあ、偶然を装って出くわすなって行って、  
適当に明日香さんから一時間遅れぐらいにそこに向かった。  
端まで歩いてたときに雨が降ってきた。  
私はぬれてもいいけれど、バッグの中身はそうもいかないので雨宿りを決めた。  
しばし、なんかわからないビルにあった誰が使うかもわからないベンチに  
座っていたら、おじちゃんに話しかけられた  
かもしれなかった

だけど、私は気づかないことにした。

だけど、  
もう一度、話しかけてきた。  
次は  
英語がわかりませんってことにした。

目を丸くして、「何もわからないよ。」  
って顔をしたらけど、それでも話しかけてくるので  
次は怪訝そうに「アムジャストウェイテングレインズゴーン」  
って言った。  
それでもおじちゃんはフレンドリーに  
「Where are you from? from here? where??」  
としつこいので  
「じゃばん。」  
って言った。  
そしたらまた、べ～らべ～ら。と話す。  
とりあえず、この場は雨なので、質問されたことには答えた。  
What are you doing?  
Where are you going?  
Why are you here?  
Are you in holidays?  
うっさい!

おじちゃんはツアードライバーだけど、今日はホリデイだけど、  
私をフリードライブしてあげようか。と言う。  
いいですって断ったけれど、なんか、なんともいえぬ。

ぬ。  
名刺をくれた。

握手をして別れた。  
ってことで、そこからまた、引き返してる途中に明日香さんと出会えた。

結局その後スコールが来て  
二人で雨宿り。

明日香さんは撮影もあることだし、雨がやんだら別々の道に行くことにした。  
また夕方に会おうと別れた。

6時過ぎにもう一度明日香さんと会って

コムターに行くことにした。

コムターはホテルの近くで一番栄えてるビルで  
行けば何かあるだろうと散策しにいった。  
そこに映画のポスターが貼ってあった。  
みっしょんいんぼっしぶる3とか、だびんちこーどとか。  
そのポスターに引かれて  
映画を見ようか。と二人で思いついたように決めた。  
最上階が映画館だった。  
映画館に入った瞬間にバイレーツオブカリビ안의宣伝があった。  
見たい!!!!

だけどよく見ればそれは7月のお話。

ダビンチコードもまだ始まっていなくて、  
ナウショウイングな映画は  
ポセイドン。  
みっしょんいんぼっしぶる。  
そしてマレー映画とホラーっぽいものだった。  
どれも、これも、なのだけれど  
ポセイドンを選んだ。  
とにかく、私は映画館で映画が見たくって明日香さんもきっとそうだったと信じてる。  
ポスターは沈む船だった。

そこで何も察せずに、見ることに。  
ポセイドンという響きは聞いたことある。多分実話なのだろうか・・・。

分類は私の嫌いなジャンルだった。

エスエフ?ってゆうのかしら。

どーんどーん!って爆発して  
ばーんばーんって人が死んで

ゴチャゴチャとした脱出劇。

こうゆう映画のすごいところはかかっている費用と人の数だとばかり思う。  
エキストラの数や、CGや、セットとか。



他に思えることが私には無い。

映画は映像で、写真と似て非なるものなのだ。

何かと考える。

もう少し考える。

考えないかもしれない。

だけど、すごく思い出にはなっていると思う。

ポセイドン。

だけど未だに私はどうしても「ポセイドン」っていう名前を覚えられない。

久しぶりの映画館は大音響でびっくりした。

映画館は好きじゃないと言っている。その割には映画館にはよく居る。

あの、ポップコーンの匂いと汚い床とスクリーンが少し好きなのかもしれない。

不思議な空間で、みんなが惹かれるのがわかる気がする。

もうネットカフェがしまるといので終わりにする。

明日は、クアラルンプールだけど、その前に戦争博物館に行こうかと思う。

果たしてたどりつけるのか！

あ。

友達に彼女が出来たらしい。めでたしめでたし。

カテゴリ：

post by 宮澤 英美 | 日時: 2006.05.16 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#)

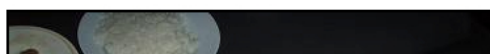
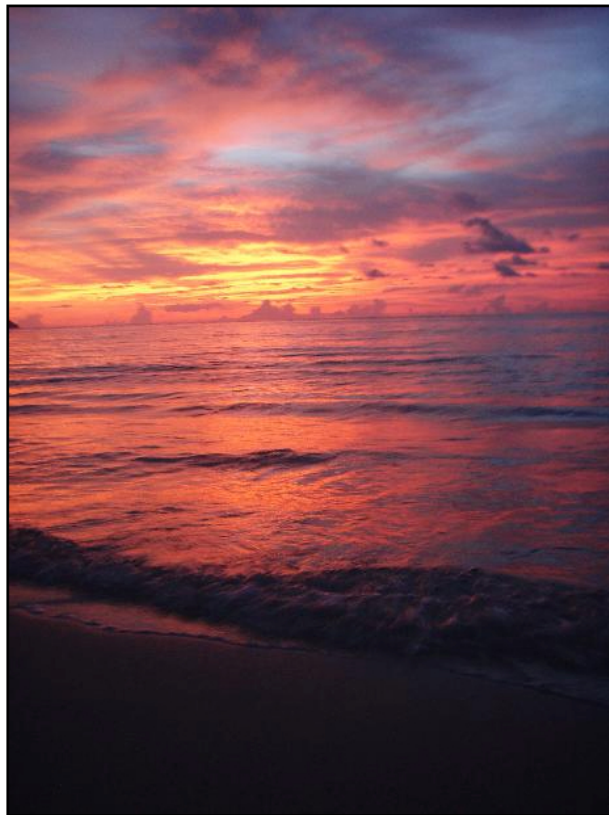
ME YA THE WORLD > May 2006 アーカイブ

06.05.14

やああああとペナン島・・・

[Tweet](#)

[Check](#)





バンコクからマレーシアまでは寝台列車で向かう。  
約一日乗った寝台列車はベトナムのとは比べ物にならないほどに快適だった。  
[旅のお供の緑のおじさんとチョコッキー！！](#)

ベナン島一日目。  
私と明日香さんは沖縄に続き、またビーチを目指す。  
ビーチあんどサンセット！  
これを目指すのさ！  
最初は自転車で行こうと試みたものの、  
自転車の貸し出ししてるところはほとんどなくて断念。  
なので、バスを使ってベナンで一番きれいなビーチに向かうことに！  
[バスステーション](#)は凄く、現地用ぽかった。私たちはよく足を踏み入れたなとわれながら思う。  
そこで、日本語が話せるおじちゃんと出会う。おじちゃんのおかげで私たちはゲットインバス。

40分程度、走ると、さっきのおじちゃんが  
「出る出る！」という。  
だから出てみた。

[バス](#)にさよならを告げていざ！！ビーチを目指す！



ビーチに出れば、マリンスポーツのお誘いばかり。  
しかし私たちは何もしようとしてないのよ。  
そこで出会ったのが  
[ぶっちゃーさん](#)  
観光客とお話ただけで日本語を覚えたらしいけれど、すごい上手かった・・・。  
普通に会話がなりたったのでした。おじちゃんがインド人だって。

私たちは海沿いを歩いた。  
そこで私は見つけた。  
ひーちゃんを。

ひーちゃん一号は取れ無く、捕獲を失敗した。  
だって、触った感触が予想外だったんだもの。  
思いのほか、硬いもんだから気持ち悪くて取り逃がした。  
だけど、3号目のひーちゃんは確保。



ひーちゃんはされるがままだった。  
私たちはひーちゃんを王様にした。





周りにお堀を作ったりした。  
ひーちゃんは未だ無言。  
ひーちゃんて顔を作った。それを明日香さんに見せた。  
そしたら明日香さんが  
「口が地味だよ・・・。」  
って言った。  
だけど、ひーちゃんがありきのこの顔なの。  
ひーちゃんがメインなの。  
しどい！！



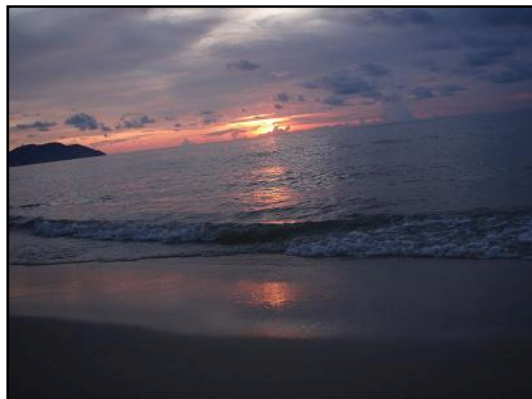
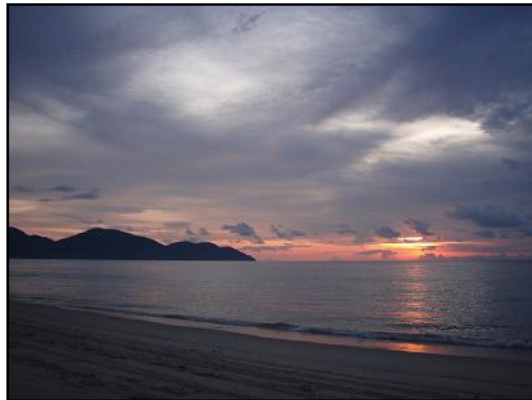
私と明日香さんはひーちゃん王国をサンセットまで作ることにした。  
ひーちゃんバレスを。  
ひーバレスを作る間中、ひーちゃんに水分補給は怠らなかった。  
だけど、明日香さんはひーちゃんに一度も触ることはなかった・・・。  
[ペナン島観光地ヒーバラ](#)

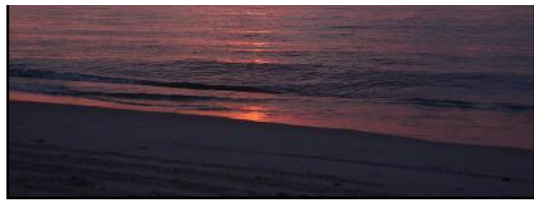
ひーばらを作っていたら日が暮れた。  
あたりはすっかり夕日につつまれていた。  
ひーちゃんと明日香さんとペナンで一番きれいな夕日を見た。  
夕日が沈む頃、ひーちゃんを海に返した。  
きっとひーちゃんは、急いで沖に逃げただろう。

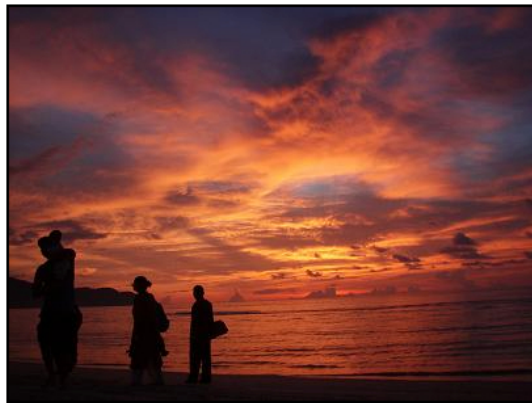


私たちは暗くなる前にバスに乗ってホテルの近くまで帰ってきた。  
そして、にぎわうナイトクラブのあたりでリッチなご飯を食べて  
なんだかリゾート気分になった。  
ペナン島はリゾート地。それは確かだと感じて、やっとリアルタイムでブログが更新できると感  
極まる。

終。







post by 宮澤 美美 | 日時: 2006.05.14 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

カテゴリ:

[ME YA THE WORLD](#) > [May 2006 アーカイブ](#)

そしてまたバンコクDA!

[Tweet](#)

[Check](#)





バンコクに舞い戻る。

やっぱり都会だな。

まずは、前回成し得なかった企画。

カンチャナブリーに行こう！の会をしてみた。

カンチャナブリーには「戦場に架ける橋」で有名な橋がある。

私はその映画を見たことないのに行っちゃおう作戦だった。

カンチャナブリーにはバスで行くそう。

ガイドブックには約2時間と書いてあった。

バンコク、南バスターミナル発というあいまいのことしか書いていないガイドを頼りに

朝7時半。向かってみる。

バンタク（バンコクタクシー）ドラちゃんは英語やらなんやら通じない。

行きたい場所を告げてもなかなかスムーズには行きやしない。

だけどもなんとか、南バスターミナルに着いた。

そのまま、ドラちゃんが指したバスにされるがままに乗る。

中では関西のおばちゃんのような空気のおばちゃんが

「カンチャナブリー！」

と叫んだ。

席に座るとそのおばちゃんが切符を売りしてきた。

なんか、親近感のわくおばちゃんだった。おばちゃんはその後も引き続きカンチャナブリーまで

乗ってくるお客に切符を売っていた。

アジアのバスは不思議だ。

停車するどころからともなく食べ物や飲み物がいっぱい入ったかごを持って売り子が来る。

その場で帰るのかと思いきや、少しの間バスに乗っている。

移動なの？ 商売なの？ 買いたい人は買って、興味ない人はひたすら窓の外を見ている。

私は興味ないわけではないけど、用はないからひたすら窓の外を見ていた。

旅で一番好きな時間はやっぱり移動の時間だ。

自分の好きな曲を聴きながら新しい景色を見る。人々の暮らしを傍観する。

旅じゃなくて私の一番好きなことかもしれない。

東京でも、電車に乗ってるのが楽しい。ビルの窓ひとつ一つに時間がある。

私とまったく関係ない人の時間が見れる。

同じ趣味の人は居るはずだぜ。げへへへへ。

バスはかれこれ2時間は走った。

着く様子ゼロ！

でも確かに標識にはカンチャナブリーはあっち。って書いてあるのを見かける。

まあ、乗り過ごしてもなんら問題はない。

だって私は「戦場に架ける橋」を見たことないのだから。

違う場所に着いたらきっとそこにはなんかあるだろう。

そんなことぐらいしか考えない。

だけど、3時間過ぎた！1時過ぎ。どうやらカンチャナブリーに着いた模様。

そのまま橋に向かう。

隣には戦争博物館があった。

もちろん入ってみる。

やっぱり見ておく必要があるところには導かれるものだと思う。

日本の歴史を外国で知るのも何か考えるものがある。

だけど、知らなかったよりは知ってよかったと思う。

今まで現地で見ただけ、「アジアの中にある日本」はとても明るい物だった。

だけど、当初、私が企画書を書いたころはこういうことも知りたくて企画したのだと思いき。

カンチャナブリーを私はとっても気に入った。

観光地だけで、現地の暮らしがしっかりと見れる街だった。

もう少し居たいと思った。

だけど行きのバスを考えたら夕方には帰らなければならぬ。

午後4時過ぎ。バンコクに向かう。

着いたのは午後8時。うお！帰りは4時間かかりました！

見切りは必要だぜ（汗





お昼過ぎにディーちゃんから電話が来てた。

「明日、おひまですかー？」

「おひまです！」

「遊びましょー！」

「はい！あそびましょー！」

ってことで、

翌日はディーちゃんとジェイさんとまた遊んだ！！











ディーちゃんとジェイちゃんは私と同じ年22歳。  
それもあってか、話も合う。  
最初はディーちゃんと二人でウインドウショッピングでサイアム周辺をうろろうろした。  
アジア大きいデパートも行った。  
ロフトもあった。ディーちゃんとは凄く気が合う。  
どこまで私が言っているのがわかってるのかわからないけど、なんとなくわかる。  
それは私にも経験がある。  
英語でいっぱい話しかけられてもある程度を超えると自分の想像しだけで笑う。  
その兆候が見られる時は私はディーちゃんに言う  
「わかってないでしょ〜!!」  
そうするとディーさんは「なんとなくわかります〜!!」という。  
うん。それもわかる。  
私がタイ語話せないのが無力だ。

わからないっていても、相当、わかってる。  
私たちはひたすらジェスチャーしながらトークする。  
ジェイさんも来た!  
ジェイちゃんは、前回以上に日本語を忘れていた(笑)  
ディーちゃんは家にみゆきさんが居たからだいぶ、日本語になれてはいたけれどジェイちゃんはそのではないから、「タイ語で話しましょう!」とよく言っていた(笑)  
ディーちゃんとジェイちゃんが一緒になるとやっぱり、凄い勢いでタイ語を話しはじめた。  
すごーい楽しそうに二人は話す。私もそれを見ているだけで楽しい。  
スタバで二人にタイ語を習った。むずいに決まってるだろ!  
だけど次会う時までには覚えたい。  
と思った矢先に  
「はい!八時にこれテストに出ませー!!」  
WAO!  
普段、日本語学校でやられてることを私に!!

他愛もない話をしながらスタバに居座る。ん〜。懐い。  
ジェイちゃんも相当おもしろい。頭がいいと思う。だけど、おちゃめだ。  
その後はバンコクで大きなナイトバザールに行った。  
またですか!  
と思うと思う。だけど、タイは相当マーケット。  
そして、二人もショッピング好き☆そして私も好き☆  
相変わらず、どこのマーケットに行ってもにぎわってる。  
そこで私は、家族にお土産を買った。二人がまた、手伝ってくれた。  
最後は3人でタイスキヤキを食べた。  
初タイスキ!!  
相当うまい!!  
ディーちゃんとジェイちゃんを是非、日本にご招待したい。  
東京は案内できるかわかんないけど、東京で遊びたいなあ。  
すっごく素敵な出会いだった。また必ず会おうね!

おまけ☆  
みんなで集まった日にお好みパーティした☆

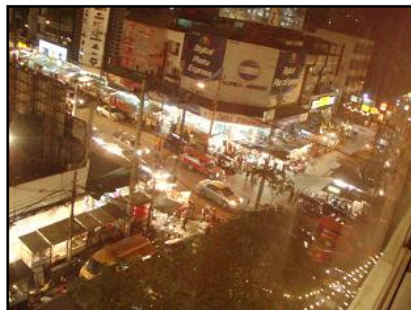


## チェンマイ日和☆

[Tweet](#)

[Check](#)

そしてチェンマイ。  
[チェンマイは飛行機でひととび!](#)



ホテルの目の前がチェンマイ名物ナイトバザールだった。  
民族の人たちが売る木のカエルの鳴り物が夜遅くまで部屋に聞こえてきた。  
げ〜こげ〜こげ〜こ。って

私たち、よっここと五十嵐先生は、ワンデイトレック。なるツアーに参加した。



それは、象でジャングルをかけまわり







カレン族の村を訪ね

滝つぼで泳ぎ



もうひとつの村へ行きランチを食べて  
パンプーなんとかで川下りをし



水をおもいきりかけられ







通りすがりの子供に乗られ転覆して



とにかくびしょぬれだけど楽しいな。というツアーだった。

チェンマイはこれに限る！



おまけ。

カテゴリ：

post by 宮澤 実美 | 日時: 2006.05.14 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

## アユタヤ日和☆

[Tweet](#)

[Check](#)

今はマレーシアなんだけど、アユタヤとチェンマイの日々も更新したい。  
なんでしょうか。

だけど、私は文を書くとき長くなるので今回は写真でご紹介。

まずはアユタヤ。



バンコクからアユタヤは列車で移動したのです。



アユタヤは、至るところに犬が居た。としかいいようがありません。

[アユタヤ遺跡にも行ったのです。](#)



象に乗ってみた。日本人しか乗っていなかった。いや、これは先生だけだ。





とくだけいたが自転車に乗って通りすがった。現地人だった。偶然はあるものだ。そのチャリに乗るよこさん。うれしそうだ。



私は午前中に一人で、アユタヤにある、日本人村跡をたずねた。やったら、大阪のおいちゃんが居て、久しぶりに漫才を見た。ナチュラル漫才は独特だった。アユタヤ名物ドリマンが何よりも有名だというものだから撮ってみた。いかが。



ホテルではヒキコモリズがおかしなおまけで謎の食物連鎖園を作っていた。ひきこもりは怖い。

カテゴリ:

post by 宮澤 実美 | 日時: 2006.05.14 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[ME YA THE WORLD](#) > May 2006 アーカイブ

## バンコクのお話つー！

[Tweet](#)

[Check](#)

ウィークエンドマーケットに行く。の巻。







日本語学校で仲良くなった。  
ディーさんとジェイさんに誘われてウイークエンドマーケットに現る。  
いくら練習しても言えない「チャットゥチャック」っていうところで行われる大きなバザール。  
これも、バンコクではとても有名なようだ。  
確かに有名だろう。すごい賑わいだ。お店の数も一駅分、ブロックごとにごっそり並んで  
人も、地元の人、観光客とでぎゅうぎゅうだった。  
駅に11時に待ち合わせ。  
エスカレーターを降りればすぐにディーちゃんが居た。  
ディーさんと隣にはみゆきさん。  
みゆきさんは、タイで一年間タイ語を勉強するそう。  
そして、今は、ディーさんのおうちに泊まっている。  
みゆきさんと自己紹介をしていたら、ジェイさんが来た！ジェイさんも友達と一緒に！  
友達はもちろんタイの子。  
いざ！マーケットへ！

・・・しかしあつ！タイは相変わらず暑い。  
みんな汗だらだらになりながらお店を回る。  
こんなとこ、初心者一人では来られない・・・。  
市場のように建ち並ぶお店と行列になって進む人。  
見たいものがあつたら、ぐいぐい踏み込んでいかなければ流されてしまう。  
それでも、私たち5人はアクセサリーショップを基点によくストップする。  
「買いたい時は言ってくださいー。」  
とディーさんとジェイさん。  
ためしに言ってみれば  
値切り倒し！！(笑)  
地元の人でさえ値切って買うのに、観光客はもっと高く見積もられるらしく  
二人のねばりですごく安くなった。  
わーいわーい！  
おかげでいっぱい荷物を増やしちゃったぜ。  
途中でお昼。[タイフードに挑戦！](#)  
敢え無く断念！  
[幸いっつうの！](#)(笑)  
だけど、おいしさは伝わりました◎  
午後、少しするとジェイさんと友達は帰るみたい。  
「どこ、行きますか？」  
と聞けば  
「顔マッサージ行きますよ」  
と意気揚々と去っていった・・・。  
おもしろすぎる。  
なので、ディーさん、みゆきさんと3人で相変わらずショッピング！  
ディーさんは相当ショッピング好きだ！  
目を離すとす〜く値切ってる！(笑)  
みゆきさんは、これから一人暮らしをするように色々考えてショッピングしてた。  
確かに、暮らしが楽しくなりそうなものがやたらめったらいっぱい売っていた。  
もし、ただの観光なら私もスーツケースいっぱいにしてしまったらう。  
歩けど歩けど新しいお店。  
洋服、ハンドメイド、照明、キャンドル、工芸品、お土産、犬、猫、魚、家具、おもちゃになん  
やらかんやら  
無いものは無いのでは。というマーケット。  
気付けば午後4時過ぎ。  
あいやー！  
名残惜しいけれどマーケットを去ることに。  
ディーさんとみゆきさんともお別れ。  
なんか、とっても親近感の湧く4人だった。  
必ずまた、会おうね。と固く約束してお別れしたのでした。





カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.05.14 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

ME YA THE WORLD > May 2006 アーカイブ

06.05.11

## バンコクのお話わん！

[Tweet](#)

[Check](#)

バンコクは都会だ。  
きっと、みんなが同じことをブログで言っているだろう。  
だってしょうがない。  
私達は、ベトナム、カンボジアを経ているのだから！  
東京みたいな雰囲気には、ちょっとまだ、ってゆうか、準備できてないよぉ！って感じだった。  
建ち並ぶビルや、車だらけの道路や、大きな広告看板。  
東京と全く変わらない。ただ、渋滞は激しい。  
私達のホテルはチャイナタウンのど真ん中。  
あっれっれー。タイに来たのに見たことある風景。  
アジアを3カ国周って強く感じることは、中国人の多さ。  
どこの国でも幅を利かせてるぜ！  
看板には大抵中国語も書かれている。

チャイナタウンは夜、にぎわう。  
道路なんて見当たらないほどに屋台が建ち並ぶ。  
だけど、まだ、挑戦はしていない。。。  
地下鉄だってすごい。東京の地下鉄の汚さなんてない。  
パリやロンドンの地下鉄に近かった。  
近代的で清潔だった。  
だけど、わかりし、慣れていてちゃんと乗れる人は少ない気がした。  
バンコクでも日本語学校を訪ねちゃう私。  
この学校も日本国内に居るときにインターネットにて見つけたのです。  
バンコクにあるジェイエドゥケーションという日本語学校。  
対応してくれたのは長谷川さん。快く迎えてくださってありがとうございました！！  
さすが、都会の日本語学校。でっかいビルの23階？！  
扉を開けた瞬間、隣には和室。  
進めば、日本の漫画がたくさん！  
窓の外はビル群。  
オフィス。という言葉が合うのか・・・。  
東京の語学学校のイメージと同じだろう。  
そこで、わいわいと生徒か先生か、みんな、見分けがつかないくらい若い人たちがばかりだった。  
長谷川さんはまだいらしてなかったものの、スタッフの皆さん、みんな親切に迎えてくださった。  
そして、行った当日に撮影。  
明るい教室を選んでくださって、「てっぺい」先生の授業にお邪魔することになった。  
まず、自己紹介。  
あらあら！すごく理解している!!結構普通のスピードでしゃべっちゃったけど、みんなわかるみたい。  
・・・レベルが高いじよ。  
てっぺい先生のクラスはみんな明るい生徒だ。  
何かあるたびに、笑いがおきたり、話が脱線したりする。  
私がカメラを向けると照れながらピースをしたりする。こらこら（笑）  
てっぺい先生の動きも激しい。（笑）

そして相変わらず、日本語って難しい。。  
生徒はみんな高校生から大学生。  
みんな、勉強熱心。  
みんなもやっぱり、日本語を使ったお仕事につきたいそうだ。  
本当に日本語が上手でびっくりする。  
休み時間になると、話しかけてくれた。  
金曜日にクラスみんなで海に行くみたいで誘ってくれた。  
私も行きたかったけど、残念ながらその日はチェンマイ。  
「残念です〜。」とみんなで言い合う。  
授業は再開。  
おとっとー。何時間やるの？！  
一時半から始まってかれこれ、3時半も過ぎましたが。  
最初は元気だったみんなも、だんだん、無口になってきた（笑）

午後5時30分。  
授業が終わった。  
そこに日本の男性の方が現れた。  
もしや。  
やはり。長谷川さんだった。  
さわやかに、ボカリスウェットを持って笑っていた。  
長谷川さんはとても気さくな方だった。爽やかに登場し、爽やかに教室をあとにした。  
とても素敵な機会をありがとうございました！！









その後、生徒の一人、ギウちゃんが「バンコクの渋谷に行きますか？」と誘ってくれた！！

[スカイトレインに乗って、いざ！バンコクの渋谷へ！](#)

そこは・・・渋谷以上だろう！っていうびっぴかびかの建物たちと多くの人でにぎわっていた。

ギウちゃんに連れられて着いた先はビル内にあるファミレスのようなところ。

そこにはカップルのような二人とわっかい女の子が座っていた。

一人は明らかに西洋風、隣の彼女はエスニック。そしてもう一人の女の子が一番国籍不明！

お人形ですか？！という感じだった。

おやおや、とんでもないところに来たようだけ。

最初は、緊張してたものの、みんなの明るさとオープンさでだんだん楽しむ。

男の子はイギリスとタイのハーフで、エスニックガールは中華系タイ人で

一番国籍不明な子が生粋タイ人だった・・・。

とりあえず、みんな、高校生だった・・・。若いZE！

話す言葉は英語と日本語とタイ語。日本語がわかるのはギウちゃんと私だけで、

英語は私と、男の子と、エスニックガール。エスニックガールはインターナショナルスクールに通ってたらしく英語がべらべら！

生粋タイの子は、タイ語しか話せないと淋しがってたけれど言葉は通じなくても仲良くなれるんだなって

あとでわかった。

ファミレスを移動し、アイスクリーム屋へ。

そこでなんと、人数倍増。パフェを食べているうちに

友達や友達とかなんとかで最終的に10人以上になっていた！

オープン過ぎだ！どうりで私もすんなりこの輪に入れたわけ◎

おもしろいなあ。と思いながら、[現役高校生たちにパフェをおごってもらった。\(おい](#)

バンコクの渋谷はサイアムスクエアというところ。

バンコク通の人はもちろんご存知の場所だと思う。

渋谷よりも大きいと思う。歴史は違うだろうけど。

やっぱり若者の街だ。

久しぶりに都会でわいのわいのした。

10人くらい集まって、名前はわかんなくても笑いあった。

不思議な時間だったなあ。

最後はみんな、夜の街に消えていったけど私はホテルに帰ったのでした。





久しぶりの都会と、若い人との交流でぐったり疲れた私だけど、翌日は違う生徒の子達とウイークエンドマーケットに行く約束をしていたのでした。  
続く☆

post by 宮澤 美美 | 日時: 2006.05.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

カテゴリ:

[ME YA THE WORLD](#) > [May 2006 アーカイブ](#)

06.05.09

アンコールワットにも行ったんだっけ。

[Tweet](#)

[Check](#)

ちゃんと、世界遺産も見ただけなのですが、  
思い出は  
暑い。  
ってことと、、、

暑い。

ってことと～・・・

あとは～・・・

暑いってことだったかなあ・・・。

あ！

あとは、

暑いってこと！！！！

階段が怖かったってこととね！







授業中は「ヒヨヒヨ」つくひまじが少いくつ、人が走り回つた！(笑)  
不思議すぎる空間。だけど、授業はしっかり。生徒もしっかり。  
みんなまじめな顔でノートをとってる！鋭い質問！  
困るみゆき先生。日本人の私でさえわからぬ！  
接続詞とか、「を」とか「に」とか・・・日本語は難しい。  
変換する言葉だらけだ。日本語が外国語なら私はすっかり諦めるだろう。  
日本語はカンボジアでも需要が高いとわかった。  
観光客として街を歩けば、みんな日本語で話しかけてくる。  
おみやげ物屋に行って日本語だけで話しても全然問題ない。  
トクトクのドライバーも日本語を話す。  
おかげで私はすっかり誰にでも日本語で話すようになってしまった。  
初級が始まる15分前頃、時計も見ずに遠くを見ながらみゆき先生が  
「そろそろ、終わりかな。」とつぶやく。  
なぜ！と視線を追いかけると  
そこには、パソコン遺跡の瓦礫から顔を出したり、のっかっていのお坊さん達！  
ひい！無表情で待ってる！（笑）  
それがなんとも、シュールで相当おもしろかった。のに、  
なぜ私は振っていないの。（涙）  
授業を振るのは相変わらず難しい。。  
確かに不思議な空間だけどころ。むづかしいよう。  
だけど、授業は終わってしまう。。。





その後、  
バコン村の孤児院に連れて行ってもらった。  
その孤児院は去年出来たばかりでまだ7人しか居ないという。  
その子達は人身売買などで国境あたりで捨てられた子達だという。相変わらず、何か、ぼかんとしてしまう。  
こんなに笑っていて人懐こい子達がお父さんもお母さんも居なくてそんな過去があって、今、みんなで共同生活している。  
なんて。  
日本語学校から孤児院までの道がすごく好きだった。  
孤児院で長居してしまった。わけもわからず、「長居」だった(笑)  
バコンマジック。ゆっくりと流れる時間。  
ただ笑っているだけでいつまでも居たいと思ってしまう空間。

だけど、ご飯食べに行こう！ということになり、  
バコン遺跡の前の屋外食堂でご飯を食べることに。  
また来た道を戻って遺跡前につき。ごは一ん。  
ここで、みゆきさんをはじめ、その前の先生「みわ先生」や「えみこ先生」は有名人。その三人の知り合いっていうだけでみんな親しげに話してくれる。  
ご飯を食べながらクメール語を習う。  
赤ちゃんとおっかかけっこしたりする。  
なんだ。  
この空気・・・！！(笑)  
バコン村は相当和む。  
午後5時前。  
いいかげん。帰ることにした。  
夕陽に照らされたカンボジアの道はとてもきれいだった。  
授業風景にいまいちなじめなかった私は、翌日のお邪魔も頼んだ。  
みゆき先生は快諾してくれた。  
なので、翌日もたずねてしまったっ。(笑)  
遺跡マニア、けーちゃんと荒金氏と共に。  
同じコースだったけれど、一日よりも二日っていった感じで、  
だけど、相変わらず、バコン村の雰囲気には勝てなかった・・・。  
とっても素敵なシェムリアップだった。  
またもや、  
この場をお借りして、  
みゆきさん、ありがとうございました！！そしてこれからもよろしくです☆  
アップが遅れてしまいごめんない。。。  
夏休みの宿題をやっているようです。  
溜まっていく宿題を猛烈スピードでこなしていかなければ。。。

そして手持ちの写真を忘れたので、詳しい写真はまた今度・・・(涙)



カテゴリ：

post by 宮澤 笑美 | 日時: 2006.05.04 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#)

[ME YA THE WORLD](#) > May 2006 アーカイブ

## 今更シェムリー〜〜アップ！

[Tweet](#)

[Check](#)

かれこれどれくらい更新していないのか。  
ブノンベンを過ぎ、シェムリアップに行ったのです。  
シェムリアップでは「みゆき」先生が待っていてくれました。  
まず、初めに、一緒にランチ！をして、翌日の授業の撮影について色々お話を聞くことにしました。  
かなちんのパースデーパーティの買出しをじゅんくんと、あずかさんと  
して、オールドマーケットでうろうろした後、待ち合わせ場所のセンターマーケットに到着！  
みゆきさんに待ち合わせ場所を決めてもらったけれど、  
みゆきさんったら「じゃあ！センターマーケットで待ち合わせで！」  
としか書いておらず、あたい洋、困っちゃった☆



だけど、なんとか出会う！  
わお！自転車で登場！（笑）  
現地民してますネ！（笑）  
第一印象はイメージと全く違う！てこと。  
みゆきさんのメールでは「私はでかいです。」  
みたいなこと書いてあるからてっきり、大女（わ）かと思いきや！  
いゃん。かわいらしい、お姉さんやあ！  
みゆき姉さんは出身地が明日香さんと同じってことで、  
明日香さんに感じられるふわふわ感とちょっとぼけー（失礼（笑）とした雰囲気）  
持ち合わせた素敵なお姉ちゃんでした。  
4人でクメール料理大食い大会が行われてしまいました。  
4人しか居ないっていうのに、無差別に食べたいもん頼んじゃったもんだから  
最終的にピザがやってきたときにはもう皆、信じなくなかったってわけ☆  
みゆきさんは、すっごく私たちのコースの、この今の状態に興味を持ってくれた。  
そいでもって、学校自体も凄いなってずっと言ってた。  
感動しちゃったとまで言っていた。私たちはひたすら、あははは。と笑った。  
その後、私と明日香さんとじゅんくんはカンボジア班の写真展に行く予定だったのだけど、なん  
と！  
みゆきさんも一緒に！来てくれることに！わあいわあ！うれしいな☆  
ジモッティらしく自転車を放置して。  
ホテルにて、バスが向かえに来てくれるというからそれに乗かることにした。  
しかあ〜し。車と人数の割合が！それはまるで、シエムリに着いて、サリナホテルに  
行くまでの車のよう。明らかにアウトオブ。  
定員120パーセントの車中は漂うエイジアン。  
みゆきさんは、不思議な人だ。  
外部の人なのに、うちのクラスとひしめき合える。  
やはり、ニオイが似てるぜ（ニヤリ  
写真展は凄く素敵な場所で行われており（それは前回の日記に書いたのかな？）  
孤児院の子達は、割とシャイ。  
だけど、おっかけっこは相変わらず。  
気づけばみゆきさんは子供達の真ん中に。  
流石。と、とくだけいたとアイコンタクト。  
えみねえ（絵美子さん）の友達だ。  
孤児院には少ししか居られなかったけれど、楽しかった。  
そいで、翌日。  
みゆき姉プレゼンツ。  
バコン村の旅。が始まった。  
続く。



オールドマーケットでアンクレットを買った記念。

カテゴリ：

post by 宮澤 美美 | 日時: 2006.05.04 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)